

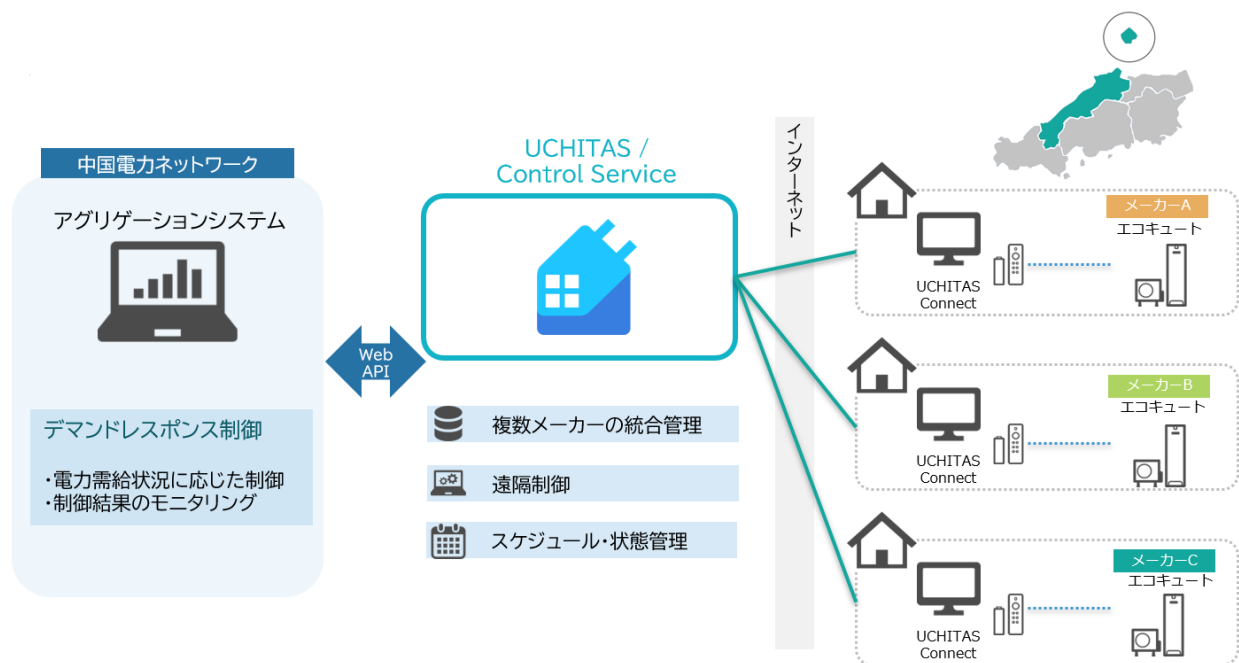
インテックの「UCHITAS/Control Service」、 中国電力ネットワークの隠岐諸島における デマンドレスポンス実証に採用 ～複数メーカーのエコキュートを統合制御し、需要管理の有用性を検証～

TIS インテックグループの株式会社インテック（本社：富山県富山市、代表取締役社長：疋田秀三、以下：インテック）は、中国電力ネットワーク株式会社（本社：広島県広島市、代表取締役社長：長谷川 宏之、以下：中国電力ネットワーク）が島根県隠岐諸島で実施するデマンドレスポンス（以下：DR）制御^{※1}の検証において、法人向け遠隔機器制御クラウドサービス「UCHITAS/Control Service（ウチタス/コントロールサービス）」が採用されたことを発表します。

本実証では、島根県隠岐諸島のエコキュートを対象に、マルチメーカー対応のDR制御基盤として、インテックの「UCHITAS/Control Service」を活用し、沸き上げ時間を柔軟に制御することにより、再生可能エネルギーの有効活用と電力需給の安定化の実現に向けた有用性を確認します。

※1 電力需給状況などに応じて、需要側の機器の運転時間や動作を制御し、電力需給バランスの調整を行う仕組み。

<中国電力ネットワークが隠岐諸島で実施するエコキュートを利用したDR実証のイメージ>



■インテック選定の背景と理由

近年、再生可能エネルギー（以下、再エネ）の導入拡大に伴い、離島のような本土と送電線で接続されていない独立系統地域では、電力の需給バランスを安定的に維持することが重要な課題となっています。中国電力ネットワークでは、島根県隠岐諸島において、再エネ導入拡大に向けて蓄電池を活用した実証（隠岐ハイブリッドプロジェクト）を行い、そこで得られた技術を需給バランス調整に利用しています。さらに今回、需要側エネルギーリソースを活用したDRの有用性

を検証するため、再エネ発電量が電気使用量を上回る可能性がある場合などに、需要家の利便性を損なわない範囲でエコキュートの炊き上げ時間の制御を行うことによる効果を確認します。

従来、エコキュートの制御は特定メーカーの機器に限定されるケースが多く、対象機器や運用方法の拡張が課題となっていました。インテックは、複数メーカーでも ECHONET Lite AIF 対応エコキュートを個別に制御できる法人向け遠隔機器制御クラウドサービス「UCHITAS/Control Service」およびエネルギーリソースアグリゲーションに関する実績を有している点などが評価され、本実証におけるサービス提供事業者として選定されました。

本実証では、インテックによるサービス提供を通じて、以下の効果が期待されています。

- ・ 独立系統地域における電力需給バランスの維持への貢献
- ・ 複数メーカー機器を個別制御することによる、システム構築・運用負荷の軽減
- ・ 再エネの発電量の変動に柔軟に対応する需要側制御の実現

■実証実験の概要

インテックは、中国電力ネットワークが島根県隠岐諸島において実施するエコキュートを活用した DR 実証において、マルチメーカー対応 DR 制御基盤「UCHITAS/Control Service」を提供します。

本実証では、複数メーカーの ECHONET Lite 対応エコキュートを制御し、再エネの出力変動に対応した DR 制御の有用性を検証します。

実施期間	2027 年 5 月まで
実施場所	島根県隠岐諸島
対象者	中国電力ネットワークが募集した協力者（モニター）最大 100 件
実証内容	・ 複数メーカーの ECHONET Lite AIF 対応エコキュートを対象とした DR 制御 ・ 再エネ出力変動時における需要側制御の有効性検証 ・ マルチメーカー機器を統合制御する際の運用性・拡張性の確認
提供技術	・ 「UCHITAS Connect」※2 を通じ、パナソニック、ダイキン、長府製作所製をはじめとしたさまざまなエコキュートを接続 ・ 「UCHITAS/Control Service」上で機器を統合管理

※2 家庭内に設置された機器とクラウドサービスを接続するスマートホーム向けアプリケーション

■今後の展開

インテックは、本実証を通じて得られる運用面での知見を踏まえ、マルチメーカー対応 DR 制御基盤「UCHITAS/Control Service」の機能拡充や運用モデルの高度化を進めます。さらに、実証成果を活用し、他の地域や用途への展開可能性についても検討します。

■「UCHITAS/Control Service」について

「UCHITAS/Control Service」は、IoT 機器を対象とした企業向けの遠隔機器制御クラウドサービスです。一般家庭に設置された電気温水器、エアコン、照明など重点 8 機器を、メーカーを問わずクラウド経由で安全に制御・管理できます。一般家庭を対象とした VPP や DR、エネルギーマネジメントなど、事業として利用できる形での提供を前提に設計されています。

詳細は、こちらをご参照ください。

<https://uchitas.com/controlservice/>

■中国電力ネットワーク株式会社について (<https://www.energia.co.jp/nw/>)

主に中国地方をサービス区域とする一般送配電事業者として託送供給を行うとともに、離島（島根県隠岐諸島および山口県見島）のお客さまへ電気の供給を行っています。中国電力ネットワークは、2050年の中国エリアのカーボンニュートラル実現に向け、分散型リソースも活用しながら、再エネの最大限利用に資する取り組みを推進していきます。

株式会社インテックについて (<https://www.intec.co.jp/>)

お客さまの経営戦略に沿った情報化戦略の立案からシステムの企画、開発、アウトソーシング、サービス提供、運用保守まで、IT分野において幅広く事業を展開しています。インテックは、1964年の創業以来培ってきた技術力をもとに、AI、RPA等のデジタル技術の活用や、新たな市場の創造にも積極的に挑戦しています。常にオープンな姿勢で、人、企業、社会を技術でつなぎ、自らも変革しながら「豊かなデジタル社会の一翼を担う」企業としてお客さまに新しい価値を提供していきます。

TIS インテックグループについて

TIS インテックグループは、国内外グループ2万人を超える社員が『ITで、社会の願い叶えよう。』を合言葉に、「金融包摂」「都市への集中・地方の衰退」「低・脱炭素化」「健康問題」を中心としたさまざまな社会課題の解決に向けてITサービスを提供しています。デジタル技術を駆使したムーバーとして新たな価値を創造し、人々の幸せと持続可能な豊かな社会の実現に貢献します。

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

※ 記載されている情報は、発表日現在のものです。最新の情報とは異なる場合がありますのでご了承ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

◆報道関係からのお問い合わせ先

株式会社インテック 企画本部 コーポレートコミュニケーション部 小川、稲垣

E-Mail : press@intec.co.jp

◆サービスに関するお問い合わせ先

株式会社インテック ソーシャルイノベーション事業部 ビジネスイノベーション部
遠藤、大谷、堀

E-mail : uchitas_support@intec.co.jp